

## 5. 研究

### 5. 1 経常経費特別分

#### ①四国防災・危機管理プログラムによる防災・危機管理教育の実践と防災啓発事業の展開

担当者：上月 康則、湯浅 恭史

研究費：2,758,000 円

#### ②南海トラフ巨大地震に対応する徳島大学 BCP(事業継続計画)の運用と教育・訓練の実施

担当者：湯浅 恭史、松重 摩耶、上月 康則

研究費：608,000 円

### 5. 2 受託研究

#### ①企業防災の訓練指導事業の実施とその効果検証（とくしま BCP 等策定支援事業）

代表者：湯浅 恭史

委託機関：徳島県

研究費：810,000 円

概要：災害時における企業の事業継続力を強化するため、BCP 等の策定及び見直し改善の支援として、県内企業や商工団体を対象にした訓練指導等を行うとともに、実際に訓練を実施した企業からの聞き取り調査などから訓練指導の手法について検証を行う。

#### ②一般廃棄物最終処分場廃止に向けた課題解決のための検討

代表者：上月 康則

委託機関：徳島市

研究費：100,100 円

概要：徳島市西須賀最終処分場の廃止に向けた取り組みについて、当該処分場に係る水質調査資料等を学術的な見地から検討を行い、課題解決への助言を行う。

#### ③防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト

代表者：小平 秀一（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

担当者：馬場 俊孝

委託機関：文部科学省

研究費：1,455,000 円

概要：南海トラフ地震の多様性が指摘され、また巨大地震発生確率が高まる中、本プロジェクトでは、科学的・定量的なデータに基づき南海トラフの現状や一定規模の地震発生時、及びこれまでとは異なるゆっくり滑り等が起こった際の地震・地殻活動とその推移予測に関する情報を迅速かつ精度よく評価し情報を発信する手法の開発を行う。また、発信された情報を被害軽減に最大活用するため、平時や「南海トラフ地震臨時情報」が出された場合、住民・企業等の防災対策の在り方、防災対策を実行するにあたっての仕組みについて

て研究を実施する。さらに自治体等と連携し、プロジェクトで進めた研究成果が被害軽減の向上にどのように貢献したか定量的な評価を行い、防災・減災計画に向けた効果的な研究開発項目を明らかにする。

#### ④感染症に配慮した社会福祉施設の事業継続計画策定研修の実践

代表者：湯浅 恭史

担当者：中野 晋、金井 純子

委託機関：徳島県社会福祉法人経営者協議会

研究費：494,000 円

概要：徳島県内の社会福祉施設の事業継続計画策定率向上に向け、感染症対策にも配慮した効果的な研修方法を開発し、実践する。

### 5. 3 共同研究

#### ①街路沿いのブロック塀の抽出とその損傷、老朽化を迅速に判定する手法の研究(継続)

代表者：上月 康則

委託機関：株式会社日本インシーク

研究費：1,500,000 円

概要：(1)研究目的 地震時の倒壊等が問題視されているブロック塀は町中に多数点在しているが民有も多く設置場所や状態が管理されておらず、市町村が防災計画等を立案する上での障害となっている。これを調査することは重要であるが、人海戦術で実施することは経済的で不合理で、ITC 技術を活用した迅速且つ効率的な抽出および状態判定を実施することを研究の目的とする。

(2)研究内容 ICT を用いた点検フィールド使用に向けたサポート、試行点検の手法および点検結果に対する学術的サポート、ブロック塀の健全度調査方法の普及と標準化に関するアプローチ

#### ②民間資本を活用した安全な都市基盤の整備に関する研究

代表者：蔣 景彩

委託機関：株式会社一条工務店

研究費：1,400,000 円

概要：南海トラフ地震に対する事前復興対策として津波浸水エリアでの安全な都市基盤整備が急がれている。これまで大規模災害に対する事前防災としての都市基盤整備は行政により実施されてきたが、大規模災害が切迫する中、民間資本も活用して官民共同で効率的な基盤整備の必要性が高まっている。官民それぞれの特徴を生かした都市基盤整備の新たな手法を開発・提案するとともに実現に向けた都市基盤の整備設計を実践する。

### ③尼崎運河と尼崎港での水官橋管理手法の検討

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

委託機関：兵庫県阪神南県民センター

研究費：1,799,200円

概要：(1) 尼崎運河と尼崎港における水質環境特性の把握

尼崎運河と尼崎港を対象に、水質・底質・生態系に関する現地調査を実施し、水質監視を行うとともに、水質管理方針について検討する。特に底質に着目した研究を行う。

(2) 尼崎運河と尼崎港の環境修復技術・手法の開発および啓発

魚類の生息域拡大に関する実験を行う。チチブを対象とし、鋼矢板でのすみかづくり実験を行う。啓発活動としては、魚類の食材利用の試行、魚類生息場づくりワークショップをオープンキャンパルディの機会に実施する。

### ④波・流れと環境分析結果の見える化に関する研究開発

代表者：山中 亮一

委託機関：株式会社エイト日本技術開発

研究費：2,600,000円

概要：社内ニーズへの対応および他社との差別化を図るために、空間的数値情報の利用フィールドとして、主に水防災分野へ適用（他分野への応用可能）し、その利用価値を向上させるものである。

(1) Celeris を用いた自由視点による波浪過程の見える化システム

(2) DualSPPhysics を用いた海岸工学に関する現象の見える化システム

## 5. 4 受託事業

### ①令和5年度地域防災力強化人材育成推進事業

代表者：上月 康則

委託機関：徳島県防災人材育成センター

事業費：7,231,000円

概要：地域防災活動に行政と協働して取り組む「地域防災推進員」の養成を図り、地域防災力の強化につなげるため、徳島大学が開講する体系的な防災講座を一般市民及び徳島県職員等を対象に実施する。

### ②小松島市職員防災士養成事業

代表者：上月 康則

委託機関：小松島市

事業費：1,989,000円

概要：特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」の養成を図り、小松島市の防

災力強化につなげるため、国立大学法人徳島大学が開講する防災士研修認定講座を小松島市職員対象に実施する。

### ③地域防災力強化事業業務

代表者：田村 隆雄

委託機関：徳島市

事業費：1,694,423 円

概要：大規模な災害が発生した場合の被害を最小限に止めるためには、地域の防災力の強化が不可欠である。特に地域に居住する住民の防災意識の向上とその居住する地域の特性を知ることが、地域の防災力強化の近道となる。平成23年3月に発行した「徳島市総合防災マップ」を市民が保管用として自宅に置くだけのものにならないようフォローアップを実施し、徳島市内の行政区2地区を対象に地域住民が自ら考え作る自分たちの避難支援マップを作成することにより、地域の特性を再認識し、地域の防災力強化と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

### ④鳴門市地域防災リーダー養成講座開催業務

代表者：上月 康則

委託機関：鳴門市

事業費：1,547,000 円

概要：(1) 特定非営利活動法人日本防災士機構が定める研修カリキュラムの実施  
(2) 防災士資格取得試験実施の手続き

## 5.5 助成金

### ①科学研究費助成事業（学術研究助成基金）基盤研究（B）（一般）

研究名：徳島県小松島沖亀磯を対象とした臨海地震の崩壊現象の解明と誘発津波の予測

研究者：馬場 俊孝

研究費：4,550,000 円

### ②科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）（一般）

研究名：仮想と現実を密にリンクする避難訓練XRシステム

研究者：光原 弘幸

研究費：5,200,000 円

### ③科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：セルフモニタリングを取り入れたストレングス視点型生活習慣変容プログラムの開発

研究者：岡久 玲子

研究費：650,000 円

④科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：海岸ハイブリッドインフラにおける生態系サービスの持続的な活用と保全

研究者：山中 亮一

研究費：2,080,000 円

⑤科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：ICT技術活用も含めた少人口／多人数社会の構築プロセスに関する研究

研究者：田口 太郎

研究費：1,560,000 円

⑥科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：砂州地形の攪乱を維持するための流砂の量的・質的管理と河川構造物の効果的配置

研究者：武藤 裕則

研究費：1,170,000 円

⑦科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：ウィズコロナ時代の遠隔解析による歯科的身元確認法の開発

研究者：高野 栄之

研究費：520,000 円

⑧科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：看護師の職業継続に係る「働き続ける強さ」測定尺度の開発

研究者：上白川 沙織

研究費：520,000 円

⑨科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的研究（萌芽）

研究名：夜間の飛翔動物相と空域ニッチの利用状況の解明

研究者：河口 洋一

研究費：2,470,000 円

⑩科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的研究（萌芽）

研究名：巨大災害時の生活再建困難者の発生を抑制する災害ケースマネジメント手法に関する研究

代表者：上月 康則

研究費：1,527,000 円

## 5. 6 寄附金

### ①環境防災研究センター

寄附者：株式会社一条工務店

研究費：3,000,000円

### ②山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント

研究費：500,000円

### ③上月 康則

寄附者：五洋建設株式会社

研究費：550,000円

### ④松重 摩耶

寄附者：一般社団法人四国クリエイト協会

研究費：4,000,000円

### ⑤山中 亮一

寄附者：株式会社日本港湾コンサルタント関西支店

研究費：300,000円

## 5. 7 学術指導

### ①南海トラフ地震に向けた事前復興の理念普及と社会実装

代 表 者：中野 晋

依 頼 機 関：株式会社一条工務店

学術指導料：12,350,000円

概 要：南海トラフ地震に向けて、人的被害の削減、被害後の早期復旧・復興を実現するため事前復興の理念の普及・啓発やフェーズフリーの防災まちづくりに係る研究開発と社会実装を図る。